

6月1日より段階的再開にむけて学校が動き始めます！

キーワード

学校教育目標の4つめ 自ら実践し、創造する生徒
各学年 生徒のリーダーシップを育てる

いよいよ6月1日から段階的に通常の学校再開に向けて、まずは条件をつけながら学校生活を送り、徐々に通常の学校生活に戻すような時間割を組んでいきます。皆さんはこの2か月の間、自宅にいる時間が長かったので、なかなか生活リズムが元に戻らない人もいます。これからは定期的に学校に来ることができますので、皆さんは新しい生活様式を意識しながら生活リズムを整えてください。さらに自宅にいたことで、なかなか運動することができなかつた人も多くいるのではないのでしょうか？皆さんの体力面もすごく心配となっています。これから毎日登校することで、少しずつ身体を慣らし、これからの夏の季節に適応できるようにしていかなければなりません。

段階的 school 再開にあたって、重要なポイントが体調チェックとなります。自分の身体がいつもと違って様子がおかしいと感じるときは、登校しないでください。体調が悪い時は自宅で身体を休めるかお医者さんの診察を受けてもらってください。毎日の検温と体調チェックを必ず行い、自分自身の健康管理をきちんと把握してから学校に登校してください。まだ休校が解けたばかりのこの状況で学校生活で重要になるのは、保健室の利用方

法となります。朝の登校日のチェックで体調の様子は把握できますが、大丈夫だと思っていたにも関わらず、学校生活をおくるなかで熱っぽい症状がでた場合、保健室に来室し、検温と問診をしながら保健の先生は様子を探り、「心配だ」と判断した場合は、保健室で待機させ、その間、他の生徒は入室禁止とし、家庭連絡を行い、保護者の方が引き取りに来るまで見守るといこととなります。

今までと違う保健室対応となるかもしれませんが、まだコロナウイルスの感染が完全に収束していない今の状況では、理解してもらいしかありません。その場に適した行動を一人ひとりがとれるようにしていきましょう。

色々な心配はありますが、まずは皆さんがこれから始まるクラス・学年・学校が通常の活動をしっかりと開始できるように一人ひとりがリーダーシップを発揮して、新しい生活様式のなかで、安全で安心な学校生活をつかってほしいと思います。

最後にこの2か月間の学習の遅れはとて大きいものです。一日の時間割を7時間にするなどして学習を進めねばなりません。一時間一時間がとても大切になります。学校が再開できそうなところまで来た今こそ頑張っていきましょう。

強いからだをつくる

迷ったときはきついほうを選ぶ

(飯が食える大人になる！よのなかルールブック 日本図書センター より)



「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 □咳エチケットの徹底 □こまめに換気
- 身体的距離の確保 □「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □名刺交換はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、別途、関係団体が順次作成している。